



●いしださわぼうさいせんたー

松島地区は松島湾に点在する260を超える島々が津波の勢いを衰えさせ壊滅的な被害は免れたものの、浸水は2kmに及びました。そこで防災まちづくりの拠点として機能すると同時に、災害時には情報提供や炊き出し、救護所などの拠点として、また帰宅困難になった地域住民や観光客などの避難所の役割を担う施設として整備されました。防災無線設備を備えるだけでなく、施設の際には倉庫を配置し、有事の際の毛布や水・食糧を備蓄しています。

普段は震災の記録集や展示スペースを併設した防災センター棟を無料休憩所として開放。松島町を訪れた観光客も防災について学べる場として震災発生時から復旧・復興までの歩み、道路・河川・港湾の各業務の取組みをパネルや映像で紹介しています。書籍コーナーでは、災害関連の記録や資料を閲覧することも可能です。

立体模型(地図)上に、プロジェクションマッピングで映像を投影した三次元シミュレーションを「防災」「復興」「歴史」「観光」「基礎」のテーマで体験。津波のシミュレーションは立体表示でわかりやすい



ピーク時の3月12日には避難所の数が45カ所、避難者の数も3719人にのぼったことが掲示されている。被害状況をはじめ、復興計画、観光・産業の復興への取組みなどテーマごとにパネル展示している



長さ30m、幅12m、高さ9mの広さを誇る、木造大空間の防災センター棟。施設はほかに、会議室棟、トイレ棟、それらをつなぐ長さ70mの縁側空間から構成される。建物の段差をなるべく減らしたデザインも特徴

●まつしままち

松島町

石田沢防災センター

災害時には地域住民や観光客を守る避難所

松島町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	2km ²
最大浸水深	2.6m 注①
全壊	221棟
半壊	1,785棟
一部損壊	1,561棟
死者	7人
行方不明者	
負傷者	37人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

展示

交流拠点

車椅子OK

施設DATA

●いしださわぼうさいせんたー

石田沢防災センター

☎ 022-253-7110 MAP P115C3

④ 松島町松島石田沢12-2

⑤ 三陸沿岸道路松島海岸ICから車で5分

🕒 9~17時(冬期は~16時30分)

🚰 水曜(祝日の場合は翌平日)

🆓 無料

🚗 あり(大型バス:あり)

考えてみよう

Q1 260を超える島々が津波の勢いを衰えさせ、町は壊滅的な被害から免れることができましたが、太平洋沿岸部にみられる「リアス海岸」の独特な地形は、一般的に津波の被害が大きくなると言われています。それはなぜでしょうか?



A1 V字型の湾では、津波が湾の奥へ進むほどエネルギーが集中し、波が押し込まれて高くなる。岬の先端でも、津波が海岸線に対して平行になろうとしてエネルギーが集中し高くなりやすい。

注① 出典:復興のあゆみ、令和3年3月、松島町